

## 半促成すいか「富士光HF」の品種特性

農業研究センター 農産園芸研究所 野菜部

### 研究のねらい

半促成すいかでは、近年2番果の果実品種が不安定であるために同一株での2番果収穫方式から植え替え方式が普及し、それに対応できる品種が求められている。

植え替え方式では前作の果実の収穫前20日程度のときに植え替え用の苗が同一畦に定植されるため、十分な施肥や灌水ができない点や5月以降はハウス内温度も高くなりやすく、そのために果実肥大が悪かったり、果形が乱れたり、果肉色が淡くなりやすいなどの問題点があった。

このような背景から、果実肥大が安定し、果形が乱れず、糖度が安定し、かつ成熟期の果肉の赤色が濃い品種の選定を行った。

### 研究の成果

「富士光HF」の特性草勢及び低温下での雌花着生は「富士光」並みであり、果実は縞皮で、果形はよく整い、良品率が高く、また肥大性も「富士光」並~やや優れる。糖度は5月収穫で交配から収穫までの成熟日数50日でBX11度程度、6月収穫では成熟日数35日でBX10.5度と「富士光」より早熟であり、糖度も安定している。果肉色の赤色程度も「富士光」より濃く、果肉の崩れもやや少ない。

### 普及上の留意点

「富士光HF」は「富士光」より早熟で果実肥大も優れるが、果肉がやや柔らかくなりやすい。

「富士光HF」は収穫適期の幅は「富士光」より狭く、過熱になりやすく、種子周りの果肉の崩れや空洞果となる場合があるので注意する。

表1 生育状況 平成5, 6年5月~6月 5株平均の2反復

系 統・ 品 種	つる 長cm	葉数 枚	最大葉 cm		採花数 (株当り)	
			葉長	葉幅		
5 月	富士光	571	53	30.4	30.6	6.3
	富士光HR	556	57	29.5	29.7	6.7
	マイティー21	538	48	29.9	29.1	8.3
6 月	富士光	606	55	29.3	29.5	7.2
	富士光HR	549	61	28.8	28.7	9.2
	マイティー21	561	56	28.2	29.7	8.2

表2 果実の品質 平成5, 6年5月~6月 5果平均の2反復

系 統・ 品 種	収穫 日	成熟日 (日)	果質 (kg)	果肉 色	秀 優 品率(%)	
5 月	富士光	5月13日	46	6.23	1.6	40
	富士光HR	16	47	6.22	1.7	70
	マイティー21	22	53	5.81	1.4	50
6 月	富士光	6月17日	42	6.34	1.5	60
	富士光HR	18	43	6.72	1.6	80
	マイティー21	19	43	6.00	1.6	60

注) 果肉色: 色彩色差計a/b値 (果実中心部)

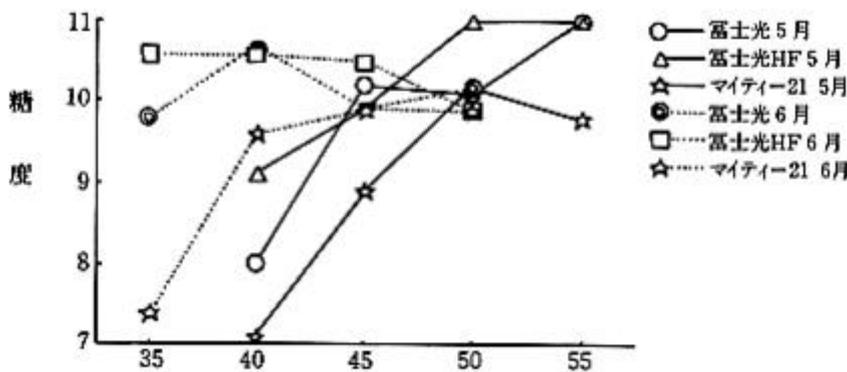


図1 成熟日数と糖度

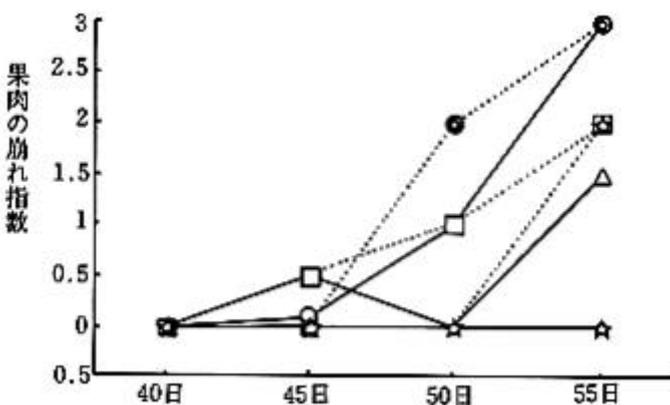


図2 成熟日数と果肉の崩れ程度